

新大工町ザ・くんち

新大工町
くんち奉賛会発行
平成27年3月
No.1

あれから7年。新大工町に再び曳壇尻と詩舞の季節がやって来ました。くんち本番に向けて奉賛会の役員や曳壇尻、詩舞、囃子メンバーも決まり、本格的なくんち態勢がスタートしました。

くんちは古来、踊町の一角を担ってきた新大工町が、その総力を結集して臨む最大のイベントです。詩舞の舞人の皆さんは、すでに1月から合同稽古を続けています。曳壇尻根曳の皆さんも自主トレを経て、基礎体力づくりの合同トレに入りました。

今回は、囃子の大太鼓が従来より一回り大きな太鼓に新調されるなど、話題にも事欠きません。

町の総合力で挑む



奉賛会会長
井上正道

いよいよ今年、新大工町は381年続いている伝統ある長崎くんちの踊町を迎えました。

演し物は曳壇尻と詩舞です。明治・大正時代、12か町を数えた曳壇尻を現在も奉納し続けているのは新大工町だけです。

詩舞の奉納は今回で4回目になり、回を重ねるごとに大変好評を博しています。勇壮な曳壇尻と優雅な詩舞で一つ

の演し物と考えていますので、本番での調和を期待ください。

今回は、奉納踊り応募者も多数あり、経験者も含め全員が町内在住者とその関係者で占められており、心強い限りです。

くんちは町の総合力、人間関係の総和だと考えています。曳壇尻、詩舞とも気持ち合わせて稽古を開始しており、皆さまの応援と激励が何よりの励みです。

くんち奉賛会役員、出場者ともに心を一つにして、新大工町の名に恥じないように努める所存です。今後とも皆様の一層のお力添えを宜しくお願い致します。



平成27年3月2日

白采添根曳

松尾昌弥

私の家は新大工町商店街で、畳屋、食堂、饅頭屋、珈琲専門店、テナント業と時代のニーズと共に百年

曳壇尻

そこには当然「曳壇尻」があった訳で、父も私も先曳、囃子方根曳、添根曳と計5回参加させて頂きました。

弟も娘も囃子方を経験しており、7年周期

の踊町当番が、わが家のいわば「必然」だった気がします。

前々回、根曳きで参加した際は、火力発電所に関わる仕事の関係で、合同トレーニングの途中から、サウジアラビアに出張しました。

6月1日の小屋入りを挟む4カ月もの海外出張です。

この時は一緒に出張した仲間やお客様、会社の理解のお陰で、小屋入り2週間前の打ち込み囃子稽古から合流。小屋入り後は、再びサウジへ。そして7月中

旬の壇尻曳き回し稽古の開始に合わせて帰国することができました。

どれもこれも、一家総出を「必然」とする周囲の理解があったからこそできた、と感じています。

今回もこれまで通り周りに感謝し、「曳壇尻、あって当たり前」の精神を伝承するとともに、次代に引き継いでまいります。町の皆さん、お力添えを宜しくお願い致します。



無人リーダー

原佳織

1月24日より前頭苑穂先生のご指導のもと、稽古が始まりました。

前回出場の2名を除いては初心者であり、稽古着の着用からご指導を仰いでいます。

お辞儀の仕方から作法、扇子の使い方と、基本から一つひとつ丁寧に学んでいます。

2月に入り、出演者10名が揃い、本格的に舞の稽古が始まりました。

詩舞

慣れない動きに戸惑いながら、時には扇子を落としたり、隣の人とぶつかったりしながら毎週奮闘しています。

学生5名、社会人5名、色々なカラーを持った出演者が10名。共通点を強いてあげるならば「皆、頑張り屋さん」だと私は思います。

苑穂先生、松子先生、高木夫人はじめ、毎週稽古に付き合ってくださる新大工町自治会の方々、保護者の皆様のご気持ちを大切に、詩舞メンバー10名「頑張り屋さん」を発揮したいと思えます。

長崎くんちに感動と波動を

奉賛会顧問



長崎くんちの魅力は、立場は何であれ経験・出場する事により身に沁みるものがあります。新大工町の奉納踊りは、他町に学ぶべきは学び永年に亘って育まれてきたものであり、私達にはこの伝統を後世に正しく継承していく重い責任があります。

曳壇尻で一番大切な事は日頃より体力の鍛錬は勿論、メンタルの面の強化も必要で仲間を信頼し、思いやりの気持ちで協調性に務め心を一つに集中する事です。

基本的には呼吸を合わせる事です。囃子方、根曳衆、采振り連、全員が同時に息を吸い、又、同時に息を吐く気持ちで一体となる事です。

詩舞も同様に、吟士と舞人が呼吸を合わせ演舞しなければなりません。すべて揃ったとき神様と一体になり、又、観衆とも一体になるのです。そこに感動が生まれ波動が生まれるのです。この瞬間こそが、くんちの大醍醐味なのです。

秋晴れのお諏訪の杜に壇尻の舞

奉賛会役員及び担当

- 顧問 大場清利、加来栄蔵
 会長 山口康平
 総務委員長 井上正道
 傘鉾委員長 青木賢三
 シヤギリ委員長 楠田一夫
 出納委員長 瀧本 裕
 町事務所長 宮谷恒次
 担当 松浦 久
 園田 智
 大塚一敏
 井上正道
 上上泰啓
 尾上泰啓
 委員 春野清、中島秀嗣
 委員 草野一康、池田賢太郎、緒方哲也
 松岡和幸
 尾上泰啓
 庭先正帳面
 副帳面

曳壇尻

- 先曳委員長 加来栄蔵
 先曳幸領 安野久義
 子供係 宮谷恒次、田畑美佳
 トレーナー 溝口勝則
 詩舞委員長 安田静馬
 委員 寺井修三、松田秀夫
 庭先正帳面 兒島正数
 副帳面 秋島克也
 白采添根曳 松尾昌弥
 添根曳采振 新永耕三、新永晃弘
 平井栄一、兒島正吾
 根曳 富田伸次郎、鶴飼直哉、馬場直樹
 原口聡一郎、田代俊武、須川昌彦
 川口浩平、関了介、レジャー・ロバート、堀川寛弘、井上玄、井上昌一
 高木淳平、大坪勇毅、大村正隆



囃子方



保護者代表 山田充美

2月8日に囃子方の初顔合わせがあり、緊張の中、くんちまでの大まかな流れの説明と、親子揃っての自己紹介が終わりました。

7年に1度の踊町の年に、囃子方として壇尻に乗れるのはとても幸運で、気の引き締まる思いです。

6月からいよいよ稽古が始まりますが、根曳の人達が安心して壇尻を回せるような演奏ができるように、みんなでがんばって稽古していきたいと思っております。

- 野原尚人、本村俊雄、岩崎龍太郎
 笹田健斗、富田悠貴
 囃子指導 兒島正己、井上正道
 松尾昌弥、囃子経験者

- 大太鼓 山田悠佳、大宮果歩
 大場日向子
 藤盛愛、富田月紗
 寺田瞬太郎

- 太鼓 吉村風花、泉風咲、大宮希星、佐藤海斗、新永陽乃美陽輝

- 小鉦 小野凌太郎、木戸優剛
 吉村拓治、横山叶和子
 富田月菜、須川瑠帆
 新永拓人、新永大志郎

- 先曳 堀川聖貴、富田碧貴、井上航
 須川琉帆、福田耀史、濱崎いほり
 郡山恵乃、堀川咲貴

詩舞

- 舞指導 詩吟道苑徳会会長
 前頭苑徳
 吟指導 鶴洲流長崎吟詠会会長
 松永信洲
 吟士 清水定洲、大瀬西洲、中島旗洲
 山下正洲、寺井扇洲、中村仁志
 兒島正数
 舞人 原佳織、秋島良美、三浦百香、中山沙緒里、馬場知美、東季実花、香田みさき、原田咲紀、東葉奈花、乃美優菜



スポーツ保険に加入

奉賛会では曳壇尻・詩舞に出場する皆さんが稽古中やトレーニング中に事故等で怪我をした場合に備え、スポーツ安全保険（傷害保険及び賠償責任保険）に加入しました。

このほか、壇尻・詩舞の出場者を含むくんち関係者全員が、別途、長崎市が加入している自治会保険の対象になります。このため、囃子方の付き添いの家族らが稽古中に熱中症にかかったり、事故等で怪我をした場合にも、症状に応じて一定の補償金が支払われます。

ボランティア募集

今年10月7日から9日までの、くんち本番3日間、庭先回りの旗持ちや交通整理などのボランティアスタッフを募集中です。できれば3日間、フル参加をお願いしたいのですが、いずれか1日だけでも結構です。友人や知人のご紹介も大歓迎です。

先曳出場者を募集

くんち期間中、本場所・道中に随行する「先曳」の出場者を募集しています。ご一報くだされば詳しくご説明いたします。

ご連絡は、青木賢三まで。
 電話 090・3014・6792

奉賛会では、くんち本番に向けた町の話題や準備状況を皆さんにお伝えし、ご支援を頂きながら共に盛り上がって行きたい、との思いを込めて「新大工町ザ・くんち」を随時発行することになりました。採りあげてほしいテーマなどをお知らせください。

ご連絡は、瀧本裕まで。
 電話 090・2403・8711